HANACO
はなこ
HANA COMMUNICATION PAPER
http://www.fukuhana.jp/

2015
1・10
No.26

［特集］
いい夫婦の日 11・22 PR大作戦！

● PICK UP FLOWER SHOP あなたの街の花屋さん
◎ 新年御挨拶
◎ ふくおか「つくる花農家（はなや）と売る花屋」
◎ 大相撲九州場所　福岡県産花きの展示
● いい夫婦の日　11・22PR 大作戦！
◎ 地方委員会研修会を開催
◎ 部会活動報告
　花木部会　県外視察研修 in 愛媛
　一般草花部会　フラワーアレンジメント教室
◎ 営農支援課からのおねがい

新年を迎えた冬のさなか、鮮やかに咲く椿。
美しさの象徴として万葉集で詠まれ
室町時代には茶花として観賞されるなど
古くから日本人に愛されてきました。

日本生まれの椿がヨーロッパにもたらされたのは18世紀半ば。
東洋的で端正な美しさから「東洋のバラ」と称されたとか。
また19世紀に誕生したオペラ『椿姫』では
主人公の女性を象徴する花として登場するなど
西洋文化に影響を与えてきました。

花言葉は『控えめなやさしさ』『控えめな美』。
これは花に香りがないことに由来するといわれます。
冬の景色を華やかに染める椿を見ていると
ひと足早い春の訪れを感じさせます。

PICK UP FLOWER SHOP　vol.26

店内の中央にあるランのディスプレーが目を引く

開業12年目を迎えた当店は「ワンランク上の花屋」を目指し、女性ならではの視点を生かしたこまやかなサービスや接客、上質な花の品ぞろえなどを心がけています。とくに重視しているのがラッピング。スタッフのほぼ全員がフラワーデザイナーの資格をもっています。「花がかわいく見えるように」と意識しながらニーズにあわせたアレンジは個性的で、お客さんからも高い評価をいただいています。

近年、花き業界は不景気だといわれていますが、花が売れなくなったと感じることはありません。相応の努力をしていれば必ず結果につながると思います。生産者の中には、セリに出したときと出荷後の花の色彩がどれだけ違うのかを知らない方が多いようです。自分の育てた花がどのように小売店に届いているのかを知るだけでも、意識は変わるのではないでしょうか。私たち小売店は、花の価値に見合った値段で仕入れて販売することで、花の消費につなげなければなりません。それぞれが常に向上心を持ち、よりよい花き業界にしていきたいですね。

バルーンやアンティーク調の家具を置き、かわいらしい店内

直方イオンから車ですぐのところにある

FLOWER SHOP
Seika-えん
（セリ番号151）

DATA
所在地:直方市感田1858-1
TEL:0949-26-8811
FAX:0949-26-8821
営業時間:9:00～18:30
（日曜・祝日は17:00まで）
休み:無休

地方委員会研修会を開催しました

平成26年11月14日に福岡市博多区博多駅筑紫口にあるホテルセントラーザ博多にて、福岡県花卉農協地方委員会研修会を開催しました。

福岡県花卉農協の主催のもと、MPSジャパン株式会社に協力をいただき、花きの日持ち向上についてのセミナーが行われました。出席者は花卉農協地方委員、若者育成事業参加者、福岡花商協同組合、福岡花市場職員という顔ぶれで、総勢83名を数えました。

講師として、MPSジャパン株式会社代表取締役社長の松島義幸氏、株式会社小田急ランドフローラ園芸事業部次長の宮西陽郎氏をお招きし、それぞれの立場から、「なぜ、日持ち性向上対策が必要なのか」「もっと花を買っていただけるようになるために必要なことは何か」を講演していただきました。

まず、講演第1部として、松島義幸氏より、日本花き消費拡大策の推進としての「花の国日本協議会」の設立や、「花き振興法」についての概要とその具体的施策、国産花きイノベーション推進事業としての平成26年度における取り組みの説明がありました。そして、この現状を踏まえつつ、日持ち性向上への対策がお客様の満足度を上げることになり、花き産業の品質管理レベルを上げて消費の拡大につなげていくことが、今こそ必要だとのお話しがありました。

次に、講演第2部として、宮西陽郎氏より、日持ち性向上のための品質管理について講演いただきました。生産者や市場関係者よりもお客様との距離が近い、花き販売の店頭に立つ者としての経験から語られる言葉は、非常に重みがありました。

参加者の方々は、普段は花き生産者としての立場から、そして市場流通に携わる者としての立場から花き業界を見ることがほとんどです。今回の研修では、普段とは違う立場から花き業界に携わる方の意見を聞き、講演中にたびたびうなずくとともに、各講師の講演が終わるたびに会場から惜しみない拍手が送られました。

現在、花き業界を取り巻く環境は、平成26年4月の消費税率上昇により、さらに厳しさを増しています。日本政府の経済政策による円安の進行も、一部の企業にとっては好調の材料となるものの、農業生産資材価格の高騰と、消費者の嗜好品に対する購買意欲減退が、花き産業に大きな影を落としています。「花き振興法」の成立や「国産花きイノベーション推進事業」の展開も、花きの消費拡大の特効薬としての効果はいまだ未知数です。

そのような情勢の中、花き流通に関わる者として、まずはお客様が抱える最大の不満である「日持ち」についての不満を解消しましょう、生産者として、市場流通関係者として、花屋として努力したうえで、お客様にも「日持ち」についての協力をお願いし、日本の花き産業を盛り上げていきましょうと訴える講師のお二人の言葉には、強い力を感じました。

この研修会で得たものを糧にし、今後も日本人の生活の傍らに花があるよう、そしてその花を届け続けるために、花卉農協として取り組んでいきます。今後も組合員皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

部会活動報告　花木部会　県外視察研修 in 愛媛

10月20日（月）～21日（火）の2日間にかけて、花木部会は愛媛県松山市にて県外視察研修を実施しました。

視察研修参加者9名は、JAえひめ中央の職員の案内で、まずは、久芳花木部会部会長と交流のある片山氏の圃場から視察しました。

片山氏の圃場は山の中腹にあり、もともとミカン畑であったものを改植し、ビブルナムティナスやサツマスギ、クリスマスホーリー、ユーカリ、サンザシ、ソケイ、ドラゴン柳などを生産されていました。

次の圃場では、ユーカリ「グニー」を見学しました。愛媛県ではグニーの生産が盛んで、現在、JA全体で100名程度の花木生産者がいるなか、約70名の方々がグニーを生産していることもあり、出荷については非常に厳しい選別を行っているそうです。

その後も、スモークツリーやギンバアカシア、野バラなど6名の圃場を視察しました。どの圃場もとても見応えがあり、品質の良い花木が見学できたので、大変勉強になりました。

部会活動報告　一般草花部会　フラワーアレンジメント教室

一般草花部会は、10月10日（金）に福岡県立糸島農業高等学校にてフラワーアレンジメント教室を開催しました。このアレンジメント教室には、糸島農業高校の農業技術科および生活科学科から約60名の生徒と先生の参加がありました。また、一般草花部会からは高橋部会長をはじめとした部会役員4名、福岡花市場の買参人で、糸島市で営業されているみとま花園さんが参加し講師を務めました。

今回、参加者はフラワーアレンジメントの基本形のひとつであるドーム型のアレンジメントに挑戦しました。参加者は、講師から説明を受けながら、バラやガーベラ、トルコギキョウ、レザーファンなどを用いて作品の制作に取り組みました。最初は、花を挿す位置などに苦戦していましたが、完成が近づくにつれ、しだいに笑顔も見られるようになりました。

今回のフラワーアレンジメント教室は、若者が花とふれあい、花を身近に感じてもらう良い機会となりました。今後もこのような活動を増やし、花の消費拡大につなげていきたいと思います。

［はなこ］1月号 2015年1月10日発行
通巻114号
●発行・編集
福岡県花卉農業協同組合
〒812-0064
福岡市東区松田1丁目3番20号
TEL:092-621-6767
FAX:092-611-0139
Email:info-fukuhana@ja.fukuhana.or.jp
http://www.fukuhana.jp
●企画・印刷（株）プリテックフクオカ
編集・（株）クロス編集事務所
デザイン・シゲ デザイン
HANACO はなこ

～イベント情報～
第3回 リリーアベニュー

多様なユリの楽しみ方を提案するため、リリープロモーション・ジャパン主催のデモンストレーションや品種展示、講演会などを実施します。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

会場①福岡花市場場内 2月2日(月)・4日(水)・6日(金)
会場②天神地下街イベント広場 2月7日(土)（ふくおか花浪漫と同時開催）

営農支援課からのおねがい
「購買品売買基本契約」の更新について

平素より、当花卉農協の購買事業をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、本年度末（3月末日）は、「購買品売買基本契約」の更新時期となっております。契約更新が円滑に進むよう、お早めにご準備をお願い申し上げます。

新年御挨拶

福岡県花卉農業協同組合
代表理事組合長
原　坦利

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は組合員の皆様には一方ならぬご理解とご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

さて昨年は、2月14日の埼玉県と栃木県を中心とした雪の被害、京都府や広島県そして福岡県の大野城市及び須恵町での大雨被害、また台風18号と19号の九州上陸など、一年を通じて花き農家の被害が多かった年と言えます。このため、全国的に卸売市場では入荷量の減少が見られ、福岡花市場および北九州花市場においても集荷に苦労を致しました。

経済・金融情勢においては、日本銀行が昨年10月末に追加緩和を行ったことから円安・ドル高の為替レートは一気に加速し、109円台で推移していたものが、7年4ヵ月ぶりの安値を招き120円台（平成26年12月4日現在）に突入いたしました。しかし、輸出を行う一部の企業が順調に伸びているように見えますが、多くの中小企業や一般消費者まで景気回復は反映されていません。

また、円安の影響により生産資材及び食料品等の原材料が輸入に頼っている商品は値上げされ、一般消費者の財布のひもは一段と硬くなっているように感じます。

このような中、安倍総理が打ち出したアベノミクスの評価と消費税増税延期の是非を問うために衆議院が解散されて、平成26年12月14日に総選挙が行われました。今後、更なる景気回復の手段が講じられるものとは思いますが、消費者が安心して花を購入できるような環境が整えられるように期待したいと思います。

一方、当花卉農協におきましても、平成25年度に策定しました中期経営計画の実施2年目を過ぎようとしており、計画の推進に向け部署ごとの目標設定と計画に沿った取り組みを進めてまいりました。

その中での取り組みについては、「消費者を起点とした販売戦略の策定と実践」では、バケット流通の水質検査や花持ち検査を行い、花商さんや量販店が日持ち保証販売に取り組める方策等を検討いたし、実現できるものと確信しております。また、「組合員の経営を支える事業」として、クルクマの新品種開発を目指し、産地ともに協議を重ね、2月からの導入を目指しております。

「花き消費拡大事業」として、11月22日の「いい夫婦の日」、2月14日「フラワーバレンタイン」等の消費拡大を目指し取り組んでおります。さらには、今年2月には香港において福岡市と共にブライダル事業のプロモーションを行う計画をしており、生産者・組合員の花きを有利販売に繋げるような取り組みを行います。

「花きの振興に関する法律」が12月1日に施行され、花き業界の発展に寄与する法律ができ、国産花きイノベーション推進事業で5億円の資金が確保され、福岡県でもこれに向けて私ども花卉農協と歩調を合わせ取り組んでおります。

そのために本年も引き続き、花卉農協中期経営計画の目標達成に向け役職員一丸となって取り組んで参ります。

組合員皆様のより一層のご理解と、ご支援・ご協力をお願い致しますと共に、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつと致します。

平成27年　元旦

ふくおか「つくる花農家（はなや）と売る花屋」
福岡県産花きの展示商談会が、福岡花市場で開催されました
【開催日時：11月19日(水)　17時～20時】

福岡県は花きの生産が盛んで、生産額において全国第2位を誇ります。しかし、県内での花の消費額は、全国的にみても多くはありません。そこで、消費者ニーズを踏まえた生産の拡大や新たな出会いによる取引拡大を目指した展示商談会が、花あふれるふくおか推進協議会によって開催されました。今回で2回目の開催となる展示商談会には、出展者（つくる花農家）103名、買参人（売る花屋）93名、福岡県内の花卸売市場の担当者10名、県の担当者10名、計216名の参加がありました。

展示ブースには、菊・ユリ・ガーベラなどの切花やシクラメン・観葉植物・松などの鉢物が目をひくように並べられ、売る花屋さんは各ブースに立ち寄っては、つくる花農家さんの話を熱心に聞いていました。また、会場では、花農家さん同士や花屋さん同士で情報交換する姿も見られました。

花のつくり手である生産者と売り手である花屋さん、卸売市場担当者とが一堂に会した展示商談会は、福岡県産の花きをPRするよい機会となりました。このような活動を続けていくことで、福岡県内でつくられた花が、これまで以上に福岡県の消費者のもとに届くようになって欲しいと思います。

大相撲九州場所 福岡県産花きの展示

11月9日(日)～23日(日)にかけて福岡国際センターで開催された「大相撲十一月場所」にて、今年も福岡県産の花の展示を行いました。花あふれるふくおか推進協議会が、九州場所の観戦客に福岡県産の花きをPRしようと企画したこの展示では、JA福岡市・JA糸島・JAふくおか八女・JA筑前あさくら・JAにじのご協力のもと、キクや胡蝶蘭・千両などさまざまな種類の花きが飾られました。相撲観戦に訪れた多くの方々が、展示の前で足を止め、近くで花を眺めたり写真を撮ったりしていました。

特集 いい夫婦の日 11・22 PR大作戦！

11月22日は「いい夫婦の日」です。
この日に「普段伝えられない想いを花に添えてパートナーに贈りませんか」と呼びかけ、多くの方に「花贈り日」を広めるためのさまざまなPR活動を行いました。

福岡花市場・北九州花市場「いい夫婦の日」へ向けてキックオフ！

10月20日（月）のセリ前に、福岡花市場と北九州花市場では「いい夫婦の日」のキャンペーンへの参加を買参人に呼びかけました。また、同日より市場職員が「いい夫婦の日」のロゴの入った黄色いウィンドブレーカーを着用し、職員や買参人のキャンペーンへの機運を盛り上げていきました。

県内各地で、さまざまなPRイベントを開催しました

タイアップPR ～博多座編～
【開催期間】11月20日(木)～24日(月・祝日)

福岡市博多区下川端町にある劇場「博多座」との共同で、「いい夫婦の日」のPRイベントを開催しました。開催期間中は、博多座のエントランスにある階段スペースを提供いただき、花のオブジェを展示しました。さらに、一行メッセージ募集コーナーを設置し、来場のお客様からは多くのメッセージが寄せられました。

22日（土）には、ご夫婦での来場者にガーベラの一輪束を配布しました。博多座のご担当者様には、事前に劇場の公式ツイッターで22日のイベントを掲載していただきました。この情報を見て来場したという方もおられ、用意していた200本の花がなくなるほどの盛況ぶりでした。

街頭サンプリング
【開催日時】11月15日(土)
14時～（博多駅周辺）
16時～（西鉄福岡駅周辺）

11月15日（土）には、福岡花商協同組合の組合員の方々が、路上で一輪花束を配布しました。JR博多駅周辺と西鉄福岡駅周辺で行われたこのサンプリングでは、黄色のウィンドブレーカーに身を包んだ花商のみなさんが道行く多くの方々にガーベラを配布し、「いい夫婦の日は花贈り日」をPRしました。

タイアップPR～ミーナ天神編～
【開催期間】11月17日（月）～24日（月・祝日）

若い人たちにも「いい夫婦の日」の花贈りを紹介しようと、福岡市中央区天神北にあるショッピングモール「ミーナ天神」とのコラボによるPR活動を展開しました。期間中はミーナ天神の1階正面入り口のスペースにて、花のオブジェの展示と一行メッセージの募集を行いました。

21日（金）と22日（土）には抽選会を開催し、JA福岡市とJA糸島から提供していただいたガーベラやストックの一輪束を参加者にプレゼントしました。

ミーナ天神のご担当者様には、ホームページにてこの企画の告知のほか、毎日新聞や西日本新聞社発行の季刊フリーペーパー「ビス」にも広告を掲載していただくなど、多くのご協力をいただきました。

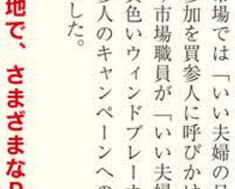
北九州花ロマン祭
【開催日時】11月16日（日）10時30分～18時
【開催場所】リバーウォーク北九州
【主催】北九州花浪漫実行委員会

今年の北九州花ロマン祭は、テーマを「いい夫婦の日」とし、リバーウォーク北九州の巨大クリスマスツリーの前でイベントを行いました。

会場に設置された記念撮影ができる花のオブジェでは、ご夫婦をはじめカップルや友人同士で写真を撮っていました。なかでも、お子様を真ん中にしてスタッフに写真を撮ってもらっていたご夫婦の姿が印象的でした。

一行メッセージ募集コーナーでは、いい夫婦の日やフラワーバレンタイン時に大切な人へ贈る花束に添えるメッセージを募集したところ、多くのお客様が心を込めたメッセージを書いてくださいました。

そのほかにも、さまざまな催しを実施しました。計3回行った「プリザーブドフラワー教室」は、さまざまな年代の参加者が熱心にアレンジを作成していました。『大好きな家族のみんなへ』というテーマで開催した「ちびっこカップ」では、低学年と高学年の部にわかれた小学生たちが、お母さんやお父さんに見守られながら、緊張した面持ちで作業台に向かっていました。さらに、北九州カップ争奪フラワーデザインコンテストのファイナリスト10名によるデモンストレーションも行われました。迷いのない手つきでスピーディに作品を作り上げていくファイナリストたちの姿に、多くのお客様が足をとめ、制作終了時には自然と観客から拍手が沸き起こりました。



テレビ、ラジオなどのさまざまな媒体を通して、「いい夫婦の日」をPRしました

RKBテレビ「今日感テレビ」
【放送日時】11月17日(月) 16時01分～16時10分

「いい夫婦の日」の特集を組んでいただき、いつもは感謝の気持ちを伝えきれない旦那様が初めて奥様に花を贈る感動の場面をレポートすることで、11月22日を「花贈り日」としてPRしました。

RKBラジオ「大庭宗一の博多熱風塾」
【放送日時】11月9日（日）19時～20時 10分間

福岡花商協同組合の満汐政弘理事長に出演いただき、「いい夫婦の日」の取り組みを紹介していただきました。

さらに、11月4日（火）、11日（火）の2日間にわたって各報道機関にニュースリリースを配信しました。当花卉農協のホームページおよび福岡花商協同組合の公式 Facebook からもPRを行いました。

2014年の「いい夫婦の日」は、花商・生産者・花市場が三位一体となり、博多座様、ミーナ天神様、リバーウォーク北九州様など多くの企業やメディア関係者のご協力のもと、さまざまな層の消費者に情報を発信することができ、イベントを盛り上げることができました。

「いい夫婦の日」が「花贈りの日」として定着し、毎年多くのご夫婦に普段伝えられない想いを花とともにパートナーへ贈っていただくことで、いっそう素敵な関係を築いていってほしいと思います。